

代っ子通信

令和8年4月17日

<第2号>

校長 平塚智康

【今年度の学校教育目標】

わたしも みんなも 幸せになる
学校をつくる人になろう

【こんな子どもに成長してほしい】

「やさしく」

- 自分も人も大切にできる子
 - ・人のいたみがわかる
 - ・思いやりがある
 - ・友達となかよくする
 - ・人に親切にする
 - ・人の役に立とうとする・・・



<1年生に紙芝居を読み聞かせする6年生>

「かしこく」

- 自ら学ぶ子、学び続けられる子
 - ・人の話を最後までしっかり聞くことができる
 - ・進んで学習に取り組む
 - ・自分の頭でしっかり考える
 - ・友達と力を合わせて課題を解決しようとする・・・



<小学校で初めての給食を食べる1年生>

「たくましく」

- くじけずやりぬく子
 - ・明るく元気にあいさつをする
 - ・進んで運動したり、外遊びしたりする
 - ・つらいことやいやなことがあったらだれかに相談できる
 - ・少々のことではへこたれない・・・

★次のページには、教職員と共有している「山代小グランドデザイン(学校経営ビジョン)」を掲載しました。今年1年、こうした目標を掲げ、子どもたちの「今」も「未来」も幸せにするために、職員一同力を合わせてがんばっていきます。

令和8年度 山代小学校グランドデザイン(学校経営ビジョン)

校訓 「一生懸命」

学校教育目標

「わたしも みんなも 幸せになる学校をつくる人になろう」

目指す児童像

- ・自分も人も大切にできる子
- ・自分で考え、動き、生み出す子
- ・多様な他者と協働できる子

目指す教師像

- ・子どもに寄り添う教師
- ・子どもが主役の授業を創造する教師
- ・子どもの可能性を最大限に引き出す教師



確かな学力(知)

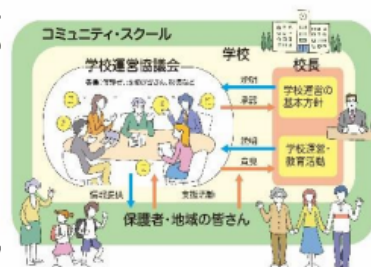
- 「個別最適な学び」「主体的な学び」の推進
- 「協働的な学び」「対話的な学び」の推進
- 子どもに委ねる学びの推進、自立した学び手の育成
- 学ぶ楽しさ、わかる・できる喜びを実感できる授業
- 今日的な課題と向き合う探究的な学びの創造 (STEAM含む)

豊かな心(徳)

- 「ありがとう」「うれしいよ」「助かったよ」のI(愛)メッセージ
- 自己肯定感、自己有用感、自己効力感の育成
- 生徒指導の4つの視点をすべての教育活動に
 - ・自己存在感の感受
 - ・共感的人間関係の育成
 - ・自己決定の場の提供
 - ・安全、安心な風土の醸成

健やかな体と心(体)

- よく遊び、よく学び、ぐっすり眠れる子
- 自分の健康(体・心)を自分で守れる子
- レジリエンス(回復力、心のしなやかさ)、ストレスマネジメント力を育む
- 子どもたちの心身ともに健やかな成長を支えるための家庭・地域との連携の推進



【家庭・地域・関係機関等との連携】

- ・地域とともにある学校づくり (PTA、コミュニティ・スクール、児童センター、まちづくり等)
- ・積極的な情報発信 (学校だより、各種たより、ホームページ、コドモン、授業公開等)
- ・地域の「人・もの・こと」を生かした学習、ふるさと山代への誇り・愛情を醸成する学習
- ・保小中の縦の連携や交流、円滑な接続
- ・教育委員会、教育総合支援センター、福祉部局等、関係外部機関との情報共有や連携

藪下 遊先生(加賀市スクールカウンセラー)の生き生き子育てコラム

年度初めの子どものストレス

新年度になり、うちの息子(小学校2年生)がやけにくっきたがる、赤ちゃん返りのような振る舞いが増える、ということに気がつきました。家族で「2年生になって緊張しているんだろう。できるだけくっついたり、関わったりするようにしよう」と話し合っていたところ、先日、息子の方から「2年生になって九九が始まるんじゃないかってドキドキしていた」と話してきました。

大人の感覚として入学や進学は“新しい場所に入る”という意味で大きな出来事という感じはしますが、進級するだけならそれほど負担はないだろうと思いがちです。私も軽く見ていました。しかし、どうやら子どもは子どもなりに色んな情報をキャッチしてまだ見ぬ世界に緊張しているようですね。

小学生くらいの子どもの緊張や不安は、甘えという形で表現されるのが最も健康的で高頻度です。多くの場合、この甘えに応えることで子どもは支えられ、なんとか乗り切っていけるものです。もしも、子どもが緊張や不安を言葉にして伝えてきたときには「それは心配だよね」「教えてくれてありがとう」「そういう気持ちだって、わかっているからね」と伝えると良いでしょう。決して「そんなこと言ってもしょうがないでしょ!」などと突き放さぬよう。伝えてくれるうちが花ですから。